

# 令和4年度 自己評価報告書

(専門学校等評価基準 Ver.4.0 準拠版)

令和4年10月1日

新宿調理師専門学校

# 目 次

<b>教育目標と本年度の重点目標の評価</b> .....	1	5-16 就職等進路.....	22
<b>基準 1 教育理念・目的・育成人材像</b> .....	2	5-17 中途退学への対応.....	23
1-1 理念・目的・育成人材像.....	3	5-18 学生相談.....	24
<b>基準 2 学校運営</b> .....	4	5-19 学生生活.....	25
2-2 運営方針.....	5	5-20 保護者との連携.....	26
2-3 事業計画.....	6	5-21 卒業生・社会人.....	27
2-4 運営組織.....	7	<b>基準 6 教育環境</b> .....	28
2-5 人事・給与制度.....	8	6-22 施設・設備等.....	29
2-6 意思決定システム.....	9	6-23 学外実習、インターンシップ等.....	30
2-7 情報システム.....	10	6-24 防災・安全管理.....	31
<b>基準 3 教育活動</b> .....	11	<b>基準 7 学生の募集と受入れ</b> .....	32
3-8 目標の設定.....	12	7-25 学生募集活動は、適正に行われているか.....	33
3-9 教育方法・評価等.....	13	7-26 入学選考.....	34
3-10 成績評価・単位認定等.....	14	7-27 学納金.....	35
3-11 資格・免許の取得の指導体制.....	15	<b>基準 8 財務</b> .....	36
3-12 教員・教員組織.....	16	8-28 財務基盤.....	37
<b>基準 4 学修成果</b> .....	17	8-29 予算・収支計画.....	38
4-13 就職率.....	18	8-30 監査.....	39
4-14 資格・免許の取得率.....	19	8-31 財務情報の公開.....	40
4-15 卒業生の社会的評価.....	20	<b>基準 9 法令等の遵守</b> .....	41
<b>基準 5 学生支援</b> .....	21	9-32 関係法令、設置基準等の遵守.....	42
		9-33 個人情報保護.....	43
		9-34 学校評価.....	44
		9-35 教育情報の公開.....	45

<b>基準 10</b>	<b>社会貢献・地域貢献</b>	<b>46</b>
10-36	社会貢献・地域貢献	47
10-37	ボランティア活動	48

## 教育目標と本年度の重点目標の評価

学校の教育理念・目標	令和4年度重点目標	重点目標・計画の達成状況	課題と解決方策
<p>☆校是は、「私達はお預かりした大切な生徒に、人としての倫理と道徳を躰け、調理師として必要な知識と技能を授け、社会に望まれる人財を養成する。」である。</p> <p>☆調理師を職業にする生徒に対して現場の新人としてお役に立てる人づくりを目指している。そのために、人間力(心磨き)に重点をおき、マナーとモラルが身に付くように教員自らがお手本となり、挨拶・返事・清掃を励行し、良き習慣を付ける躰教育を実践する。調理は基本技術の反復により徹底的な習得を授業で施す。</p> <p>☆「与える教育」から「自らが気付く教育」に転換して実施している。</p>	<p>☆平成29年度に“サービス業5S講座”を開講。「整理・整頓・清潔・清掃・躰」を養う教育を開始。翌年度より、学校周りの早朝街頭清掃を行い、ごみ拾いや植え込みの整理を通して、謙虚・気付き・感動・感謝の心磨きを実施している。令和2年度には“感謝の心を育む『おかげさま授業』”に名称を変更した。令和4年度には、そうじから学ぶという基本姿勢を再度確認し、授業を実施している。</p> <p>☆調理師は飲食サービス業の一員として笑顔あふれる接客スキルが必須と考える。“良き習慣を身に付ける『おせっかい授業』”の中で「挨拶」「返事」の意義を伝え、日頃より調理実習や掃除などを通して実践を重ね、社会人レベルのスキルを身に付ける。</p> <p>☆専修科1年次にリゾートホテルでの飲料サービスインターンシップを実施し、自立した生活と仕事の大変さを経験し、自ら取り組む姿勢の大切さを生徒に気付かせる。</p> <p>☆埼玉県見沼区での農業体験を“大地から学ぶ『農と食と命のつながり授業』”と名称を掲げ、野外での調理実習などを通して、食と命の育みのつながりを感じさせる。</p>	<p>☆社会人としての最低限のマナーである「挨拶」「返事」は、来校されたお客様から評価を頂くなど、少しずつ身について来たことを実感している。今後もより精度を上げた社会人レベルの挨拶が出来るように教員自らが実践する。</p> <p>☆通常授業では経験できない特別授業として自己の成長を希望する生徒で「シャイニングスターズ」を編成し、学内イベントでの接遇実践及び新宿警察署等主催のボランティア活動を通じて社会との繋がりを実感する。その活動が認められ、平成26年より新宿警察署長より「感謝状」が授与され、31年度までに100名以上が授与された。コロナ禍において、活動は減ってはいるものの、全校生徒シャイニングスターズとして、防犯ビブスを着用した活動を継続した。</p> <p>☆埼玉県見沼区にて実施している農業体験は農家講師と打ち合わせのもと、年間を通した授業計画を立て、内容の充実を図っている。本年度も重点課題として大豆を栽培収穫し、授業内で自家製味噌を作る。また、田植えや収穫祭は全校生徒に参加を呼びかけ、ただの催しではなく神事として取り組み、天地の恵みに感謝していただく精神を養う。</p>	<p>☆当たり前のことを当たり前に行うことが人間にとって一番難しく、良き習慣を「身に付ける」には、日々の繰り返しが必要と考える。その認識を教職員が持ち続け、行動で学生を導かない限り、本校の教育理念は達成することは難しいと考える。高い意識を持った教職員が一致団結して取り組むということが必須課題である。</p> <p>☆授業として実施するのは当然だが、一見関係のないように見える別の授業や授業外の学校生活においても、良き習慣の凡事徹底を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・机等の整列整頓・床のごみ拾い</li> <li>・教科書ノート準備・名札着用</li> <li>・あいさつ・挙手・返事</li> <li>・アイコンタクト・姿勢</li> <li>・入退室における礼作法</li> <li>・笑顔</li> </ul> <p>一つひとつの躰を丁寧に指導して仕事に取り組むにあたり、大切な心構えの習慣を指導する。</p>

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	塩田 淳子
--------	------------	-------	-------

## 基準 1 教育理念・目的・育成人材像

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p><b>校是</b></p> <p>私達はお預かりした大切な生徒に人としての倫理と道徳を躰け、調理師として必要な知識と技能を授け、社会に望まれる人材を養成する。</p> <p>「与え、教えがちになってしまう教育」から「生徒自ら感じ気づかせる教育」への転換を鋭意推進、継続する。生徒が主役になって自ら進んで学ぶ環境の助成に取り組んでいる。</p>	<p><b>☆倫理と道徳の躰</b>            教職員が率先垂範で取り組む。</p> <p><b>*躰の三本柱</b>            ・元気な返事 ・明るい笑顔の挨拶            ・使う前より綺麗にする後片付け</p> <p><b>*あいさつコンテストの実施</b>            成果発表の場としてシェフグランプリ等にて披露する。</p> <p><b>*入門式、立志式における決意の点呼</b>            入学式を入門式、卒業式を立志式と称し実施。式典内にて呼名を行い、参列の保護者や就職先企業の方の前で、決意の返事を披露する。</p> <p><b>*片付け・清掃について</b>            「感謝の心を育む『おかげさま授業』」として単位を設け、授業で掃除実践実習をし、掃除を通じた「気付き」により、仕事の段取りや衛生観念を学ぶ。</p> <p><b>☆知識と技能を授ける</b>            生徒が学校を遅刻欠席したら「もったいない」と思える授業を目指し、教職員は自己研鑽・研究をする。</p> <p>技能としては、校内心磨き選手権・庖丁人選手権などをシェフグランプリとして実施し、生徒の具体的な到達目標を定め、技術修得に対する競争心を養う。</p>

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	塩田 淳子
--------	------------	-------	-------

## 1-1 理念・目的・育成人材像

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	校是にて理念・目的・育成人材像について定めている。	毎日の教職員朝礼にて校是を唱和し、意識喚起を行う。	全ての取り組みが、校是（目的）に沿っているかを確認する。	校是 サブスローガン 学校案内書
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	社会に望まれる人材を養成することを理念に掲げている。	教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会にてカリキュラムの検証を行い、提言を参考にする。インターンシップ評価表より育成課題を見出し改善に取り組む。	指導する教員は、年々現場とかけ離れていき感覚が鈍くなる。学生や社会（現場）が求める流れをつかむために、研修を実施する。	学校案内書 実習授業年間計画
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	挨拶、返事、掃除の躰教育から仕事の姿勢を学び、基礎技術の修得をさせるカリキュラム構成する。	社会人としての躰（あいさつ・返事・清掃）、調理師としての基本技術修得を徹底的に身に付ける指導を実施する。	全教職員が行動で示し続けることが、生徒の教導育成に繋がる。	校是 学校案内書
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	社会の変化に応じた対応をするために、情報の収集・共有を行う。	生徒の学びのニーズとインターンシップ評価から読み取れる業界人材ニーズを意識し、必要なカリキュラムを取り入れる。	生徒や業界が発するサインを見逃さない。また、業界にも本校の教育理念と生徒の本質を理解いただくことにも努める。	学校案内書 実習授業年間計画

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
生徒が生業として調理師を夢見て入学してくる限り、業界に望まれる人材として「挨拶、返事、掃除」の躰と「調理の基本技術」を身に付けさせることが養成施設としての役目である。同時に生徒の心の育成に必要な学びの成果発表として行事を行い、楽しかった学校生活の思い出作りに結び付けるための授業展開をしている。	「挨拶」に関しては職員自らが生徒に「おはようございます」と声掛けし、廊下でのすれ違い時にも先手で声掛け見本を示すことで導いている。「返事」に関しては「打てば響く、素直な返事」が重要であると認識し取り組んでいる。「掃除」は、感謝の心を育む『おかげさま授業』にて、単位授業として取り組んでいる。

最終更新日付

2022年10月1日

記載責任者

塩田 淳子

## 基準 2 学校運営

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p><b>☆適正な運営</b> 調理師法の規定に沿い、調理師養成施設指導要領及び専修学校基準に基づいて新宿学園寄付行為に明文化した規則に法り学校運営を健全に行っている。組織運営は、新宿学園寄付行為において明確に定められている。 学校理念に沿った事業計画・予算書を年度ごとに作成し理事会及び評議員会において承認を得ている。また、実施された前年度事業についても事業報告・決算として理事会、評議員会にて報告、承認を得ている。</p> <p><b>☆教職員の育成</b> 教職員が、学校をより活発に運営し効果のある生徒の教導育成が出来るよう、必要な研修に派遣し積極的に学びを進めている。</p> <p><b>☆教職員待遇</b> 仕事に専念できる待遇と環境作りに配慮している。</p>	<p><b>☆学校運営意思決定・伝達・・・定例会議</b> 理事長・校長が常在し、報告・連絡・相談をしているので学校の意思決定伝達が明確である。毎月の定例会議にて全教職員にて共有している。</p> <p><b>☆情報の共有・報告連絡相談システム・・・朝礼とイブニングミーティング</b> 教職員が毎日8時から朝礼および17時からのイブニングミーティングを行う（シフト勤務対応のため、オンライン配信も実施）ことで、情報共有、報告・連絡・相談がしやすい環境を整えている。これにより、様々な案件に対して学校方針に基づいた迅速な対応が可能となっている。</p> <p><b>☆教員力向上のために</b></p> <p>①木鶏会 毎月1回17：00～18：00 テーマに沿ってお互いの意見を発表し、コミュニケーションを図る。人が誰でも持っている良心「優しさ」「思いやり」「謙虚」などを磨くことをで、生徒指導をはじめ、すべての学校運営について必要な「人間力」を向上するとともに、教職員間のチームワークを高める。</p> <p>②日本を美しくする会主催 清掃活動への参加 毎月第3木曜日6：00～7：00 歌舞伎町、新宿駅東口、渋谷で開催される早朝街頭清掃、毎月第1日曜日8：00～9：30 羽田街道清掃などへ参加し「気付き」を高め自らの心磨きをする。</p> <p>③調理場研修・派遣 生徒を教え導く教員が、常に調理現場での緊張感を持つために、フレンドリー企業を中心とした、調理場での研修を実施する。</p>

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	塩田 淳子
--------	------------	-------	-------

## 2-2 運営方針

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	調理師法の規定を守り、理念に沿った運営方針を寄付行為、学則、生徒心得にて定めている。	規定された内容を的確に運営している。	教員の経験によって認識の程度に差が出ることもある。実務処理について、不明な点は必ず教員間にて相談を行うことを徹底し、理念や規定との整合性の確認をしている。	新宿学園寄付行為 学則・生徒心得

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
運営指針である学則の理解については、職務経験により差が出ることもある。その理解の差により生徒に対して不利益が出るのは問題であるため、主任等の教員は全体的に視野を広げ、経験の浅い教員の指導育成をしている。また、不明な点は常に上司に相談し、確認することで学校組織として安定した運営を行っていくことが責務である。	生徒の単位履修及び生活指導は、クラス担任が実務を行う。全体の相談役として教務主任や学年主任を配置することで、連携を取りながらクラス運営を行い、安定した学校運営に繋げている。

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	塩田 淳子
--------	------------	-------	-------

## 2-3 事業計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	事業計画は年度前に、学園文書として明文化し、理事会・評議委員会の承認を得て定めている。	その事業計画を基に年間実施表を作成し、執行体制・業務分担を明確にして実施している。	行事や取り組みごとに反省会を開き、次年度に向けて骨子を作成し見直しをしている。	理事会議事録(学園文書事業計画) 事業計画年間実施表

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
校是を実現するための施策が事業計画である。そのことを全職員が認識し、職員間で理解、浸透させることが学校運営の根幹となる。	毎日8時からの朝礼(全教職員によるミーティング)及び毎月の定例会議(全体会議)にて、全ての取り組みに対して担当職員による細かな打ち合わせを行っている。また、事業計画により実施された行事等の反省会を行い、次年度へ向けて改善している。

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	塩田 淳子
--------	------------	-------	-------

## 2-4 運営組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	学園の運営は、新宿学園寄付行為に基づき行っている。	理事会・評議員会は寄付行為に基づき開催し、必要な審議を行い適正な議事録を作成している。	適正に開催・運営されている。	新宿学園寄付行為 理事会議事録
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	学校理念(校是)の達成に向けて学校運営組織の構築整備をしなければならない。	教務課事務組織表及び総務課事務組織表にて示している。	組織の整備はしているが、調理師単科の専門学校であるため、役割に固執せずにセクショナリズムを無くし、校是に沿った業務推進を全職員で行っている。	教務課事務組織表 総務課事務組織表 新宿学園寄付行為 会議議事録

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
組織運営においては、新宿学園寄付行為において、全て規定されている。	調理師単科の専門学校である本校では、全ての教職員が何事にも参画意識を持ち協力して組織運営を行うことで、校是に沿った統一された運営を目指している。

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	塩田 淳子
--------	------------	-------	-------

## 2-5 人事・給与制度

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	人事については教職員就業規則、給与支給に関する基準は教職員給与規程にて定められている。	適正に運用されている。	特に問題なし	教職員就業規則 教職員給与規程

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教職員就業規則及び教職員就業規則にて、教職員が安心して業務に専念できる環境整備に努めている。	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	塩田 淳子
--------	------------	-------	-------

## 2-6 意思決定システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	組織規則に教務・財務等の業務処理における意思決定システムを整備し、職務規定において財務決裁は理事長、教務決裁は校長において意志決定の権限があると明文化している。	規定通り運営している。	生徒指導に直接関わる全ての教職員が、あらゆる事象に対して改善意識を持ち、日頃から意見を提案しやすい環境を整える。	新宿学園寄付行為 組織規則

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教務及び財務の業務は、学校理念（校是）に則り行っている。毎日の朝礼の中で、生徒にとって有益な情報を共有、問題点を提示している。教職員会議にて、理事長・校長を含め判断し、運営することで、学校の活性化に結びつけられると考えている。	理事長・校長が事務室、教務室に常に在室しているため、教職員の提案に対して迅速に対応できる環境である。

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	塩田 淳子
--------	------------	-------	-------

## 2-7 情報システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-7-1 情報システム化 に取組み、業務の効率化を図っているか	情報のシステム化により業務の効率化を図る。それに並行して個人情報の安全面も考慮する。	教務課業務に関して、共有フォルダー、および教務システムを導入しデータ管理をしている。また、学生に関する情報管理、メンテナンス及びセキュリティについては個人情報保護もあり重要であると考え管理している。	セキュリティ管理においては、個々の責任において実施しているのが実情であるので、体制強化のために教職員のモラル教育に取り組んでいく。	学籍簿 成績表 学生証

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
情報のシステム化をすることで、業務が円滑になっている。一方、セキュリティ管理の体制の強化をが今後の課題である。	学生情報管理に関する事務的処理は担任の責任で行っている。また、その他校務に関する事項は共有フォルダーにて管理し、迅速な対応をするために複数人で業務を進める体制が整っている。

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	塩田 淳子
--------	------------	-------	-------

## 基準3 教育活動

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p><b>☆健全な運営</b> 調理師養成施設指導要領に基づき、卒業要件を学則に定め、確実に運営を行っている。</p> <p><b>☆業界に望まれる人材育成</b> 全ての在校生に必要な基本技術を授業内で修得実現させるカリキュラムを構成し、成果発表の場として、全校生徒参加の庖丁人選手権を実施し、競う気持ちを養う。</p> <p><b>☆大地から学ぶ 農と食と命のつながり授業の取り組み</b> 天地の恵みに感謝し、調理師としての食の向かい方を学ぶ実践授業として積極的に取り組みます。野外で実践することで、生徒の技術向上と精神力の向上につながる授業と心得て行う。</p> <p><b>☆出席点呼</b> コロナ禍でも、生徒達とのコミュニケーションは欠かせない。十分な間隔を取り、オンラインでも授業時の顔色を確認し、日々の体調管理、心の変化などを察し、心身ともに寄り添った教育を展開する。 欠席が続く学生については、保護者への連絡を密に行い、家庭と学校の双方から支え、取りこぼさないよう指導・サポートを実施した。</p>	<p><b>☆調理実習</b> 感染拡大防止対策を万全に、対面でのデモンストレーションと実習を実施した。国内での感染拡大時期は、試食時の黙食を徹底し、クラスター予防に努めた。 また、年間行事として成果発表の場として、基礎技術選手権(2回)と作品展示コンクールを行った。 感染拡大時期と重なったこともあり、希望者を募っての実施となったが、参加生徒は学びの集大成として真摯に取り組み、有意義な学びに変えることができた。</p> <p><b>☆感謝の心を育む“おかげさま授業”～掃除から学ぶ～</b> 感謝の心を育むことを目的に実施した。 校内清掃だけでなく、学校周辺の新宿街頭清掃や日頃お世話になっている大宮氷川神社の参道清掃にも取り組んだ。これらの活動を通して、整理整頓の重要性のみならず、周りに支えられていること、社会の一員であることを体感してもらう授業を展開した。</p> <p><b>☆飲食サービス業の一員として</b> 調理師として料理を作るだけでなく飲食サービス業の一員を自覚するカリキュラムを構成している。 ①「調理接客講座」躰の徹底をはじめ、お客様を接客する仕事の大切さを学ぶ。 ②「スキルアップ講座」インバウンド対応の英単語コミュニケーションを実践的に行う。</p>

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	藤田 枝里
--------	------------	-------	-------

### 3-8 目標の設定

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	校是を基に教育課程の編成及び実施の方針を定めている。	業界・社会に望まれる人財養成が専門学校の使命であり、挨拶・返事から始まる躰を徹底的に身に付ける。	教職員からお手本を示すように、清々しい挨拶の実践をする。	校是 サブスローガン
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	調理師として身に付けなければならない基礎技術と知識を、シラバスにて明確にし、試験課題を組み込み、生徒の取り組む指針としている。	通常授業内において、全員が課題の基礎技術を修得出来る年間授業計画を立て、実施している。	基本技術を身に付けることは、学生の器量により差が出る。不器用な学生には「調理基礎技術サポート講座」を課外で設け徹底的に指導をしている。	シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
調理師を生業にしていく夢を描いて入学してきた学生達に、夢が叶えられるような教育を施す必要がある。昨今は手先の器用さだけでなく、メンタル面でのサポートも必要不可欠となってきた。 総合的に、現場・社会に望まれる人財育成をすることが専修学校の務めであると考える。	生徒を指導するにあたり、まずは教職員が見本で示さなければならない。生徒の姿は、教職員の姿であることを自覚して指導に取り組んでいる。また、担任は、変容する生徒達の心の在り方についても、柔軟に対応する。

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	藤田 枝里
--------	------------	-------	-------

## 3-9 教育方法・評価等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	調理師見習いとして即戦力になるよう、社会人としての躰と基礎技術の徹底修得を教育編成している。	「挨拶」「返事」「掃除」の徹底による躰教育とシラバスに基づいた基礎技術中心の授業を展開する。	基礎的なことを身に付けるには、繰り返し指導を根気よく続けることが必要である。	学校案内書 ホームページ シラバス
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	社会に望まれる人材育成には欠かせないと考ええる。	教育課程編成委員を開催し、学校運営に対する検証をし、業界目線で必要な提言をいただいている。	業界内では、本校卒業生に対して良い評価をいただいている。	教育課程編成委員会議事録
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	社会に望まれる人材育成には欠かせないと考ええる。	1年次には社会人の学びとして自立を促し、2年次には就職に向けて実践的職業経験のインターンシップを実施し、現場の厳しさを体験する。	インターンシップ終了後に企業様から個人成績表を提出していただき、それぞれの問題点を洗い出し、日常指導に取り入れている。	インターンシップ個人表
3-9-4 授業評価を実施しているか	常に生徒が目をは輝かせている講義を行うことが本質的な授業評価だと考えている。	授業に対する具体的な評価が声として上がった時に素早い対策・対応を行っている。	生徒の取り組み方がその授業の評価だと教職員が自覚し、常に生徒に向き合うことが必要である。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教職員は生徒の受講態度について、生徒の取り組み方の問題として自らの反省を顧みない傾向がある。生徒の受講中の居眠りや欠席は、興味を引かない授業であることを自覚しなければならない。特に自分の道を選択して学びに来ている専門学校においては、無駄な学びがあってはならない。	クラス担任を中心に生徒に寄り添う目の届く教育に取り組んでいる。生徒達から上がった小さな意見も、朝礼などで議題に上げ、善処している。在籍人数に合わせ、担任だけでなく、授業担当・就職担当など教職員が一丸となって学生のサポートをしている。

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	藤田 枝里
--------	------------	-------	-------

## 3-10 成績評価・単位認定等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	学則に明記し実施している。	単位履修要件として出席時間・定期試験において合格基準を明確にして運用している。	適切に運用している。	学則
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	調理祭及び校内選手権を開催している。	「シェフグランプリ」では校内選手権（技能コンクール）、料理の卒業作品展を実施した。例年、保護者感謝レストランを開催していたが、コロナ禍であることを考慮し、保護者に向け、ありがとう弁当を製作した。生徒が主体になり、成長の披露の場となった。	シェフグランプリは7月と1月に、卒業作品展は3月に延期して実施した。活動が制限されたが、特に校内選手権においては、会場の十分な換気、参加人数の縮小、オンライン配信を行うことで、学生達の学ぶ意欲の場を奪うことなく、実施できた。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
単位履修は、規定にそって確実に行わなければならない。その中で、日常の授業の成果（学生全員の基礎技術修得）を表すために学生主役のイベントを行うが、勝敗や賞の受賞によって学生に勘違いさせてはならない。調理師見習いの卵として常に謙虚な姿勢を指導していく。	本来、調理祭の実施は外部の方々に授業成果をご覧いただく機会である。今年度も保護者様を含めて、外部の方をお招きすることは叶できなかったが、生徒が主体となり、自身が授業成果を感じられるイベントとして実施した。

最終更新日付

2022年10月1日

記載責任者

藤田 枝里

## 3-11 資格・免許の取得の指導体制

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	調理師免許取得の要件を満たした厚生労働省認可校である。	校是に則り調理師養成に努めている。	特になし。	学則 校是 学校パンフレット
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	調理師免許は卒業後、保健所申請により取得となる。卒業前に申請指導に力を入れている。	調理師免許について、座学授業内で詳細を説明している。また、技術考査は、座学各科目にて授業でケアをしている。	特になし。	技術考査合格者台帳

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
調理師専門学校は、厚生労働省の認可により卒業後、保健所に免許申請をすると、調理師免許が取得できる。また、技術考査は在学中に限り受験でき、将来の専門調理師及び調理技能士の資格取得に向けた学科試験免除資格になる。調理師としての重要な資格なので、調理師免許申請指導及び技術考査の合格に向けた授業を強化している。	技術考査は原則、在校生全員受験をすすめ、問題集を購入し各科目授業内で取り組んでいる。

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	藤田 枝里
--------	------------	-------	-------

## 3-12 教員・教員組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	資格・要件を満たした教員を確保している。	資格・要件については該当する証にて確認し、その写しを保管している。	特になし。	教職員履歴書 調理師養成施設指導要領 専修学校設置基準
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	学生の成長に伴い、教員資質の充実が必要不可欠と考える。	飲食店での現場研修や、教員力を上げるセミナーなど学校として積極的に派遣している。	教職員が研修の意義を理解し、自ら取り組む研修にして教員力の向上に努めている。	教員研修参加一覧
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	整備している。	教務課事務組織一覧に明記している。	組織図となっているが、業務は全教職員が協力して行わなければならない。	就業規則 教務課事務組織

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生の姿勢は教員の取り組みそのものです。教員はまず人間力を磨かなければなりません。その反面、教員経験が長ければ長いほど実社会（調理現場）の流れと離れてしまう。その自覚のもと資質の向上を念頭に置いた取り組みを恒常的に行っていくことが大切である。	早朝街頭清掃、羽田街道おもてなし清掃の参加 シャイニングスターズ（青少年地域防犯ボランティア活動）の参加 調理現場研修の参加 教員研修のための校内食事会の実施 教員力を上げる講習会参加

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	藤田 枝里
--------	------------	-------	-------

## 基準 4 学修成果

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p><b>☆調理師見習い即戦力の育成</b>            学校の社会的評価とは、一部の卒業生が調理師として華々しい活躍をすることだけでなく、全ての卒業生が調理師見習いの即戦力として現場から評価され、生業として定着していくことであると考え。その取り組みの成果として教育課程編成委員会において、本校は調理師見習いの養成として一番大切な躰け教育が出来ていると評価をいただいた。</p> <p><b>☆職業定着を目指した就職率</b>            調理師業界は、入社から3年以内の離職率が50%前後になる業界である。調理師を目指す卒業生を送り出す学校としては、早急に対応を考えなければならない危機感を持っている。ただ、その高い離職率から、業界としては慢性的な人財不足であり、就職率については、様々な条件を望まない限り高い水準を維持している。従って、就職内定にとらわれず、職業定着ができる教育の質の向上に取り組まなければならない。</p> <p><b>☆調理師免許申請指導</b>            卒業前に国家資格である調理師免許の取得方法の説明や申請の意義等、指導をしている。また、免許申請に必要な診断書をスムーズに取得できるよう、学校と提携している医療機関にて集団受診を実施している。</p>	<p><b>☆適正重視の就職指導</b>            就職指導は、事務的な無料職業紹介業務を行うのではなく、生徒との面談を重視している。本人の目標に沿った業界実情を説明し、将来設計のアドバイスも含め、保護者の意向を確認しながら活動を進めている。</p> <p><b>☆就職先調理長様の学校理解</b>            就職の受け入れ現場の調理長様に直接ご来校いただき、実際に生徒が授業に取り組む様子を見ていただいた上で、本校の教育指針をご理解いただく。その中で卒業生の定着実績がある企業を信頼の置ける「フレンドリー企業」として認定し、人事による会社概要説明と調理師による料理デモンストラーションを組み合わせた、オリジナルの学内企業説明会を開いている。この取り組みは、大切なお子様を保護者様からお預かりし、本校にて社会に役立つよう躰け、育成実績のある「フレンドリー企業」に人財としてお渡しする、「手から手へ」の精神に基づいた就職指針である。</p>

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	塩田 淳子
--------	------------	-------	-------

## 4-13 就職率

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13-1 就職率の向上が図られているか	専門学校学生にとって就職は最も大切なことのひとつである。希望者に対しては、常に就職率100%を目指している。また、辞めない就職を念頭に置き、躰教育の徹底をしている。	就職の相談があった生徒にはクラス担任・実習教員が希望を聴取し、信頼のおける調理長に向けて訪問や研修をさせていただき、最終的に本人の意志に基づき就職試験に臨んでいる。本校の教育指針を理解いただける「フレンドリー企業」による人事からの企業説明と調理長の料理デモンストレーションを学内企業説明会として実施し、企業理解を深め就職活動へ結び付けた。	慢性的な人財不足の調理師業界では就職についてほぼ心配はないと考える。むしろ新人に関する離職率の高さの方が問題である。求人に来校していただいた企業様には、本校の取り組みをご理解いただき、企業側にも育てる意識を持っていただくよう取り組みを行っていく。	就職ガイド 卒業生就職データ 学生の就職活動報告

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
調理師という技術職は、続ければ必ず手に職がつく仕事である。しかし、新人（3年以内）の離職率が50%近くと、定着しない現実があり、常に人財不足で求人は沢山ある状況が続いている。離職率の高さは調理師学校業界としては教育の結果が出ていないと考える。学校自らが反省し、新しい取り組みをしなければならない。その取り組みとして調理師見習いの躰教育「あいさつ」「返事」「清掃」と、調理技術として「包丁基礎技術」を徹底して身に付け、社会に望まれる人財養成をしている。	「手から手へ」のスローガンを掲げ、調理師として育てていく気構えのある調理長様の元に直接就職することで定着率を図る。そのためには、調理長様に直接学校に来ていただき、実際の授業での生徒の様子を見て、学校の取り組みをご理解いただけるようご協力をいただいている。

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	塩田 淳子
--------	------------	-------	-------

## 4-14 資格・免許の取得率

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	調理師免許は卒業後、自らが保健所に申請することで取得となる。また将来、専門調理師の学科試験免除に結び付く技術考査は、全員合格を目指している。	調理師免許について、授業内、および卒業前に申請方法等の説明をしている。また、申請に必要な診断書は提携医療機関に協力をいただいている。技術考査については、授業内で合格に向けたケアを行っている。	申請方法の具体的な説明を実施しているが、実際に調理師免許申請は卒業後になるため、追跡が出来ないのが現状である。	技術考査合格一覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
調理師免許取得による優位性として、取得後の経験年数が、専門調理師への通過点であることを生徒に周知していく必要がある。	調理師免許取得について、授業内および卒業前に詳しく説明をする。また、卒業前に提携医療機関にて診断書の集団受診を計画し、申請準備を整える。

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	塩田 淳子
--------	------------	-------	-------

## 4-15 卒業生の社会的評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	生徒が社会人としての躰を身に付けて就職し、職場から信頼されることで、定着率が向上すると考える。また、企業から学校に対する評価が上がり、在校生の就職につながっていくことが、一番の社会的評価だと考えている。	教育課程編成委員の現場調理長から、見習いの養成として一番大切な躰が出来ていると評価をいただいた。	生徒を送り出した企業からの求人数が社会的評価と考える。平成31年度までは、生徒1人に対し50倍の求人をいただいた。コロナ禍で求人数は減少したが、それでも生徒1人に対し、約20倍の求人をいただいている。今後の飲食業界の動向にもよるが、引き続き業界に望まれる人財育成を目指す。	就職ガイド

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
養成施設の社会的評価とは卒業生が社会人としての躰を備え、離職しないことであると考え。また、卒業生が来校して繋がりを続けることが母校への愛着であり、卒業生から見た学校の印象が最も厳しい社会的評価だと考える。	現場の調理長より社会人としての躰が出来ていることと、基本技術の向上が見られたと一定の評価を頂いた。 卒業生が抱える仕事の悩みを「いつでも相談」として受け付けている。

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	塩田 淳子
--------	------------	-------	-------

## 基準5 学生支援

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p><b>☆日常学校生活から察知する指導</b> 入学した生徒が全員卒業できるように、教員が生徒個々の変化を見逃さず、学校側から相談を引き出す努力が必要である。出席点呼では、あいさつ返事の躰教育を徹底すると同時に、生徒の様子変化をいち早く把握してアプローチすることで悩みの解消につなげている。</p> <p><b>☆家庭と連携した指導</b> 学校生活が乱れている生徒は、保護者様が仕事などで忙しく家庭において実態を把握していない場合が多く見られる。生活の乱れは保護者様と一体になって指導を進めていく必要があり、保護者様に生徒の学校での様子をお伝えするとともに、家庭での指導も併せてお願いしている。その過程で再三の学校指導にも関わらず他の生徒に対して迷惑を掛ける生徒に対しては、毅然とした対処を行っている。</p> <p><b>☆学生個々の事情相談対応</b> 経済的困難な生徒に対しては、公的奨学金機構の紹介や学費延分納許可を教務要領に沿って対応している。通学圏外の生徒には、提携している学生寮運営会社3社を案内している。</p> <p><b>☆就職活動</b> 毎年5月に就職活動オリエンテーションを実施し、就職に対する意識付けを行う。その後、生徒に対して担任および就職指導教員（調理実習担当）とで個人面談を実施し、保護者の同意も確認しながら、「手から手へ」の指針に基づき、きめ細やかな指導により進めていく。単なる就職ではなく調理師という職業が一生の生業となるよう、相談のあった生徒には「フレンドリー企業」を提案し、会社訪問・インターンシップを通じて生徒自身が肌身で感じて企業選択をしている。</p> <p><b>☆思い出に残る学校生活</b> 卒業後も母校として愛されるように、沢山の思い出作りとなるような行事を展開・実施している。</p>	<p><b>☆担任・副担任制から指導委員会まで</b> 教員によるクラス担任制をとっているため、生徒の様子を詳しく把握することにより学校生活の安定を図っている。また、経験による指導力の差を補うためベテラン教員を学年主任に配置し、担任の力量だけでは対応できない案件のフォローをしている。また、毎日行う朝礼にて生徒指導における問題点を教職員間で共有している。</p> <p><b>☆保護者様の学校理解</b> 保護者様に学校理解をより深めていただけるよう、体育祭（どろんこ祭）・調理祭などの学校行事や、感謝レストランとして生徒が運営する食事会へご招待をしている。その上で学校生活に乱れが出た生徒については、保護者様にすぐに連絡し一体となって指導している。また、毎月学校の様子をお知らせするクラス通信「手から手へ」の発行、及び定期試験後には、成績・出席・担任所見を保護者様にお届けしている。</p> <p><b>☆フレンドリー企業による業界を知る授業の実施</b> 就職年度クラス授業として5、6月にフレンドリー企業の人事部より会社説明、調理場より料理デモンストレーションを実施し、就職への意識を高め会社訪問へ結び付け活動を活発にしていきます。コロナ禍においては、三密を避け、安全に配慮しつつ実施した。</p> <p><b>☆令和3年度学校行事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 5月28日 お田植え祭り&amp;どろんこ祭り</li> <li>* 9月28、29日 稲刈り祭 * 10月18日 被災地訪問活動</li> <li>* 11月23日 収穫祭&amp;ナイトウォーク</li> <li>* 2月23、26日 シェフグランプリ（冬の陣）</li> <li>* 3月 5日 調理祭 作品コンクール</li> <li>* 3月11日 保護者感謝弁当</li> <li>* 3月14日 社会に巣立つ心構えの講話（コロナ感染拡大により中止）</li> <li>* 3月16日 立志式（志・弁論大会、卒業証書授与式）</li> </ul> <p><b>☆学僕制度</b> 本校オリジナルのエリート養成システム</p>

最終更新日付

2022年10月1日

記載責任者

塩田 淳子

## 5-16 就職等進路

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	卒業年次クラスの担任は、実習教員を配置し、生徒個々の性質を把握し相談に応じている。適正を見極め、就職指導教員（現場経験のある調理実習教員）と連携した指導を進めることで、業界と生徒をつなぐことが可能となる。	就職相談がある生徒は保護者同意の確認を取り、和洋中分野別実習担当による分科会を経て「手から手へ」の指針を基に安心してお預けできるフレンドリー企業様を中心に会社訪問・インターンシップを行い、本人の決断により就職していく。	生徒にとって就職は最も大切な案件であることを全教職員が改めて理解し、相談してきた生徒を速やかに、就職担当者に直接結び付けなければならない。	寄付行為 無料職業紹介事業 取扱規則

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校は調理師単科で規模もあまり大きくないことから、就職部という専管部署を設けていない。一人ひとりの生徒に全教員が寄り添い、担任を中心として希望する日本・西洋・中国・ホテル・給食に分科して、実習教員を配置している。相談のあった生徒には、将来の目標と個人の適性から割り出した、フレンドリー企業を提示し、学生自ら直接調理長を訪問し場合によってはインターンシップを行うなど自らの意思で決めた就職に結び付けている。	進路を具体的に見定めていく履歴書の書き方講座や「挨拶」「返事」「清掃」の躰け教育を重視した下記のようなオリジナルカリキュラムを実施している。 オリジナルカリキュラム一例 ・良き習慣を身につける『おせっかい授業』～挨拶・返事・後片付け～ ・感謝の心を育む『おかげさま授業』～掃除から学ぶ～

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	塩田 淳子
--------	------------	-------	-------

## 5-17 中途退学への対応

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が図られているか	入学前の公開授業にて学校の教育指針、特性を理解いただき、入学後のミスマッチをなくし全生徒が卒業していく学校を目指す。	近年、退学要因として経済的困難が最も上げられる。相談があれば、教務要領にのっとり最善の方法をアドバイスしている。個々により退学要因は様々であるが、速やかに生徒が学校に相談出来るよう、担任との信頼関係の構築をしている。毎日の朝礼にて生徒の情報を全教職員で共有している。	生徒の学校への向かい方は学校生活の様子に顕著に表れる。教職員がそこを見逃さず感知し学校側から相談を引き出し問題の早期対応が必要不可欠である。	退学届 各学科退学者数データ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校として退学率低減は常に念頭において運営している。退学要因は生徒個々により異なるが、問題が起きた時点で早めに相談があれば教務要項にのっとり最善の指導を施すことが出来る。生徒からの相談を待つのではなく様子の変化を察知し学校側から相談を引き出すことが務めであり退学回避につながる。また、全教職員による生徒の情報共有により様々な角度から生徒をフォローしている。	生徒と担任を中心とした教員によるコミュニケーション 出席簿のチェック 担任による出席指導から始まり改善が見られなければ複数教員立ち合いのもと指導委員会を行い早期対応により退学に至らぬよう指導する。 令和2年度退学率 11.6% 令和3年度退学率 9.1%

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	塩田 淳子
--------	------------	-------	-------

## 5-18 学生相談

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	専門学校として対応できる相談は、教務要領及び学則に沿って最善の指導を行う。	経済的に困難な生徒には、相談をして無理なく計画的な納期を確認した上で学費の延分納を許可している。	日頃から教員から生徒に声かけすることで生徒との信頼関係を高めていく。	教務要領・学則 学費延分願い 転部願い
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	留学生は出願時に、日本語能力を確認していますので、言葉のコミュニケーションに不具合はありません。よって一般生徒と同じ相談体制をしている。	クラス担任を通して個々の相談を受けている。	留学生を主体にした生徒構成でないので現状で問題ないと考えられる。	留学生データ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教務要領及び学則に沿って対応出来ることや学内で起きた出来事については、徹底的に生徒の相談に乗っている。また日常的な心のケアは生徒への無関心が問題を大きくするので、教員から生徒にその向けたコミュニケーションを取り続け信頼関係を構築することが問題解決の糸口になると考える。留学生においては、就業に近い、特定活動（日本の食文化海外普及人材）や特定技能（1号）などの在留資格が取得できるようになったので、実態を今一度把握・検討しながら、時代対応として考えていく。	全ての生徒相談は常時受け付けており特に問題はない。

最終更新日付

2022年10月1日

記載責任者

塩田 淳子

## 5-19 学生生活

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	経済的困難の生徒は年々増加の傾向にある。相談にきた生徒については、個々の状況に応じて対応している。	公的奨学金機構の案内及び窓口業務を取り扱っている。また、学費の延分納の相談に対して教務要領に沿って対応している。	調理に携わるアルバイトを案内し、希望する生徒と企業をつないでいる。	奨学金対象者一覧 アルバイト求人票 学費延分納願
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	学校安全保健法に基づき健康診断を実施している。沢山の生徒が集う教育機関として、健康管理を行う体制整備は必要不可欠であると考えている。	インフルエンザ・新型コロナウイルスなど感染性の疾病については、基準を設け状況に応じて対応している。	社会に向かって行く生徒に対して、健康管理教育が必要である。	学校安全保健法 健康診断表簿
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	通学圏外の生徒にとって住まいの心配を解消することは大切である。	学生寮運営会社3社と提携を結び紹介をしている。	問題なし	学生寮委託会社パンフレット 委託寮からの学生生活報告書
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	生徒より自主的に声が上がった時に、状況に応じて支援判断をしている。	調理技術コンクール等対外的な調理に関する活動の支援をしている。	生徒課外活動の学校支援は、生徒として模範であるからこそ応援されていることを自覚させる指導をしていく。	学校案内書 調理技術コンクール要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
課外活動は、学校生活が模範となる者が享受できる支援であることを生徒に自覚させ、本質を貫いた活動を通じて有意義なものになると考える。経済的なことは、保護者を交えて学校が事情と支払計画を把握し延分納を許可している。	夜間部の学費と授業を週3日の2年制に変更することで経済的に厳しい家庭の生徒の選択肢を広げた。また、社会人の年々ニーズの高まりを感じている。

最終更新日付

2022年10月1日

記載責任者

塩田 淳子

## 5-20 保護者との連携

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	生徒が学校の取り組みが疎かになった場合、状況報告をし、保護者様と連携した指導を行っている。	保護者様に学校の取り組みを理解していただくために、毎月クラス通信「手から手へ」を発行、お届けし入学式・体育祭・調理祭などの行事をご案内している。また、定期試験後においては成績・出席を保護者様に郵送している。 また、生徒が感謝の弁当づくりをし、自宅に持ち帰ることで、学びの成果をご覧いただいている。	保護者様も仕事で忙しく、なかなか連絡がつかない場合については、問題解決が遅れる傾向にある。業務用携帯を保持し、比較的遅い時間でも連絡が取れるようにしている。	体育祭・調理祭保護者招待状 成績・出席表 クラス通信「手から手へ」

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校生活が乱れている生徒は、保護者様が仕事で忙しく、家庭にて実態を把握してない状況が多く見られる。学校生活に問題がある生徒に対しては指導をしますが、乱れが改善しない生徒においては早急に保護者様に連絡してお互いの信頼のもとで連携しながら改善に取り組むことが必要だと考える。	学校指針の理解をいただけるように希望される保護者様にはいつでも授業見学を実施している。

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	塩田 淳子
--------	------------	-------	-------

## 5-21 卒業生・社会人

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	卒業生の仕事相談は随時受け付けている。OBの活躍は、学校事業においても現役生の励みとなる。	相談があれば、無料職業紹介を行っている。	仕事相談はいつでも受け付けているが、実際に相談に来校する卒業生は、多くないのが現状である。HP等の活用など、周知の強化が必要である。	求人票 ホームページ
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	フレンドリー企業の調理長のもとで育てていただき、業界では講習会が多く開催されているので、卒業後に再教育プログラムは実施していない。	卒業生が仕事の相談のために訪ねてきた時に職場の様子を聞き、適宜アドバイスをしている。	特になし	料理セミナー案内書
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	それぞれの就学目的により、昼間部本科と夜間部本科に住み分けし、ニーズに応じたカリキュラムの実践をしている。	働きながら修学できるように平成30年度より夜間部を週3日2年制へ変更した。	中高年の方々の就職については苦勞を伴うが、正社員に拘らない就労形態等の選択を勧めている。	学則 授業年度計画表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
調理師においては、勤めている店舗の料理を忠実に実践しなければならない。また、調理技術研鑽においては様々な場所で行われており社会に学びの機会が豊富に用意されている。技術よりはむしろ調理師としての歩み方を先輩から学ぶ会が必要とされる。調理師専門学校としては、学びの機会が潤沢にある卒業生を対象と考えるより、離職しない生徒育成に力をいれなければならないと考える。	卒業生の相談は随時受け付けている。

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	塩田 淳子
--------	------------	-------	-------

## 基準 6 教育環境

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p><b>☆施設・設備</b> 調理師養成施設指導要領に従って設備や教育用具を整備している。更に専門学校として時代に即した設備・用具は毎年精査して教育上必要不可欠なものに関しては、計画的に順次揃えている。</p> <p><b>☆フレンドリー企業様との産学連携</b> インターンシップは本校の教育指針にご理解ある「フレンドリー企業」様を中心に依頼し実施している。この機会を通じて、就職につながる生徒もいる。</p> <p><b>☆飲食サービス業として専門学校日本ホテルスクール様との交流授業</b> 例年、本校より「和食」、ホテルスクール様より「接客」の授業の講師を交換派遣している。</p> <p><b>☆防災・安全管理</b> 例年、新宿消防署のご指導にて全校生徒、教職員にて総合避難訓練を毎年1回実施している。 包丁や火を扱う調理は、小さな怪我はどうしても避けられませんが、器具の安全な取り扱い方や、お互いの声掛けの周知徹底により大きな事故や怪我の防止に努めている。</p> <p><b>☆防災備蓄品の完備</b> 東日本大震災に伴い、防災危機管理の意識を高めました。万が一に備え、帰宅困難学生に対して、全校生徒分の非常食、水や毛布の備蓄をしている。</p>	<p><b>☆学びのしやすい環境</b> 和・洋・中・製菓全て必修授業で取り組んでいる。全てのジャンルにおいて専用のデモルーム及び実習室を完備している。令和元年日本料理デモルーム改装、令和2年中国料理デモルームを改装した。 調理の学びは科学的要素が強く実際に目で見て学ぶと効果があがるため、全ての座学教室において視聴覚器具（プロジェクター・書画カメラ・テレビモニター・映像再生機器・マイク等）を標準装備している。 また、令和4年に予定されている、学校直営レストランのオープンのための改修工事が行われている。</p> <p><b>☆インターンシップ</b> 就職後の離職率の高さは、学生生活の甘さと社会現場の厳しさとの乖離が大きな要因だと考える。卒業まで学内だけの学びだけでなく、インターンシップで現場の雰囲気を感じることで、就職に向かう意識変化が起こることを目的とする。 <b>専修科1年次 料飲サービス業インターンシップ</b> リゾートホテルにて数週間にわたり宿泊を伴うインターンシップを行う。仕事をしながら掃除、洗濯、食事などの家事を経験し、仲間との共同生活の中で協調性や忍耐を感じることで、社会人としての心構えを学ぶ。 <b>専修科2年次 調理インターンシップ</b> 就職活動に向けて、調理現場でのインターンシップを行い、社会に巣立つ覚悟を決めるための学びにつなげる。 <b>卒業年次 就職内定企業インターンシップ</b> 就職に向け、社会人になるための心構えをつけることを目的として行う。</p> <p><b>☆生徒の事故・怪我への備え</b> 生徒の怪我は学生傷害保険に加入して、その程度に応じて適用している。</p>

最終更新日付

2022年10月1日

記載責任者

齊藤 あゆみ

## 6-22 施設・設備等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	調理師養成施設指導要領に沿った設備・教育用具等を整備している。	毎年精査し教育上必要不可欠な物は、指導要領にとらわれず順次備えている。	設備も28年を経過し、様々な個所でメンテナンス及び改装が必要となっている。その整備は、計画性をもって行っている。	調理師法施行規則

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
設備・教育用具は、時代に即した対応が必要不可欠となる。その一方で学生にとって有益な物、不要な物を精査し、教育にとって必要な物は順次揃えている。	和・洋・中・製菓全てにおいてデモルーム及び実習室を完備している。調理の学びは、科学的要素が強く実際に目で見て学ぶことで効果が上がるため、全ての座学一般教室において視聴覚器具（プロジェクター・書画カメラ・映像再生機器・テレビモニター・マイク等）が常設完備されている。

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	齊藤 あゆみ
--------	------------	-------	--------

## 6-23 学外実習、インターンシップ等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ等の実施体制を整備しているか	学生の社会的学びとして大切であると考え。	学外実習はインターンシップとして昼間部生徒全員に実施している。	専修科においては、それぞれの学年において履修の目的を明確にして実施している。	校外実習企業との協定書 校外実習個人表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
校内だけの取り組みでは社会的接点が少なく、大人に近づく学びが実践的に行えない。インターンシップは実際の職場を体験できる機会となり、学外実習を通して就職に対する意識変革になる有効なカリキュラムであると考え。 また、卒業年次には、社会人になるための心構えをつけることを目的として、就職内定企業へのインターンシップを実施している。	インターンシップ・・・職業実践専門課程生徒全員 1年次…仕事と生活の両立の大変さを体験し自立を促すために、クラスごとにひとつのリゾートホテルにて泊まり込みで実施している。 2年次…就職活動に向けた現場の実体験として実施している。フレンドリー企業様にて、実際の調理現場で行っている。

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	齊藤 あゆみ
--------	------------	-------	--------

## 6-24 防災・安全管理

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	沢山の学生をお預かりしている教育機関として責任を持った組織体制整備、適切運用をしなければならない。	消防計画に定め、運用している。災害に備えて池袋防災館にて地震・火事・救急救命を学んだ後に全校避難訓練を実施しているが、令和3年度においてはコロナ禍のため実施していない。	災害による帰宅困難生徒へ対応は、1日分の非常食・水・毛布など常備している。	消防計画書
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	調理実習は、常に危険と隣り合わせだが、器具の安全使用指導及び、互いの声掛けの徹底により、ほとんどが防げる。	授業担当教員及び助手の連携による学生指導により事故防止に努めている。また、閉校時に校内を毎日点検し、不具合等は逐次報告と早急な対応を実施している。	器具の安全使用や互いの声掛けは、現場においても従業員の安全において欠かすことの出来ないスキルである。その自覚を促す指導を周知徹底している。	学生傷害保険加入書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
新宿消防署の指導のもと避難訓練を毎年実施している。年を重ねるごとに教職員の動きや生徒指導も良くなり進歩がみられ、学生へ予告なしの実践訓練が可能になった。また、調理師は包丁や火を使う仕事のため、不意な怪我は起こるが、大きな事故につながったことはない。お互いの声掛けや器具の安全使用は現場では必須の教育事項である。	全生徒に対して学生傷害保険に加入し、万が一の怪我・事故に応じて適用している。

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	齊藤 あゆみ
--------	------------	-------	--------

## 基準 7 学生の募集と受入れ

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p><b>☆学生募集</b>            ここ数年、入学生の8割強が学校見学に参加している。もちろん他校の体験入学にも参加し、比較検討して、最終的な入学を決めている。少子化に伴う入学対象者の減少が著しいこと、景気動向と高校生の就職が上向していることにより、専門学校全体の入学者が大幅に減少している。他校との差別化を更に図り、選ばれる学校作りを常に念頭におき運営をしなければならない。</p> <p><b>☆入学選考</b>            調理師という職業に興味を持つ生徒に対しAO入試を行っている。推薦入試については、推薦基準を明確に募集要項に掲載している。一般入試は、面接において調理師としてやる気を重視して選考している。</p> <p><b>☆学納金</b>            在学生のうち約35%の生徒が奨学金を借りて進学してくる。少しでも経済的負担を軽減するために、学校運営努力により学納金の軽減を目指している。            経済的困難者に対しては、教務要領に従い、個々に適した指導をしている。公的奨学金の説明及び窓口を行っている。            入学辞退者に対する授業料等の返還については、条件を募集要項に明記して入学金を除く授業料を適正に返還している。</p>	<p><b>☆広報活動</b>            365日いつでも公開授業と称し、通常の授業日であっても入学希望者には授業風景や校内の見学を来校またはオンラインにて実施している。また、在校生「シャイニングスターズ」のアシストにより調理実習や学校生活の様子を写真等に収めて、わかりやすい学校案内等に積極的に参加をしてもらっている。            また、例年、高等学校の先生に本校の取り組みを周知していただけるよう、家庭科教員に対する食育教室を実施している。</p> <p><b>☆AO入試</b>            AO入試は、本校が最も大切とする「挨拶・返事・後片付け」を感じてもらうべく、挨拶指導、実技試験、1分間スピーチ、学科試験を行っており、来校またはオンラインにて試験を実施している。また入学前から複数ステップのカリキュラムを構成したプレスクールを開催し、本校で学ぶ心構えを養成している。</p> <p><b>☆学用品代の軽減</b>            学用品は包丁、教科書の貸し出し制を導入し、平成31年度より1年次学用品代金を14万8千円から8万8千円に大幅に減額した。</p> <p><b>☆学費の軽減</b>            卒業までの学費総額を平成30年度より夜間部は88万円に減額した。また、令和2年度より昼間部本科（1年制）において5万円の減額をした。</p> <p><b>☆感染対策</b>            コロナ禍における感染対策として来校される全ての方に、手指消毒のご協力をしていただき体調のすぐれない方の御来校をお控えいただいている。国内感染拡大時には、見学者の方や教職員・在校生を含めフェイスガードの着用、検温、靴裏の消毒、校内の換気など感染対策を徹底し、ご来校いただく方が安心して過ごせる環境づくりを実践している。</p>

最終更新日付

2022年10月1日

記載責任者

塩田 淳子

## 7-25 学生募集活動は、適正に行われているか

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	本校の教育理念をご理解いただくために積極的に取り組んでいる。	家庭科教員を対象にした「食育教室」や高等学校の先生方の学校見学会を行っている。	学校を理解していただくためには、足を運んでいただくことが重要と考える。ご来校いただけるような魅力的で話題となる学校作りが課題である。	家庭科教員「食育教室」案内書
7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	広報部を中心に全教職員が協力して行っている。	いつでも都合が良い日に来校し、学校見学をしていただけるようにしている。	特に問題なし	体験入学ハンドブック 学園便り

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学生の8割強が学校見学に参加した生徒である。体験入学で本校の指針を理解して入学してくると授業への取り組みも良くなり、更なる教育効果を上げるカリキュラムが施せるようになる。入学前に心構えが出来ていることは、生徒・学校双方にとって学びの相乗効果が表れる。	入試合格者がブレスクール（事前授業）を受講することにより、学びの心構えが備わり、入学時から一歩進んだ取り組みが出来る。

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	塩田 淳子
--------	------------	-------	-------

## 7-26 入学選考

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	調理師になりたいという「意欲」「適正」「協調性」を判断材料とし各選考方法に当てはめて適切な選考をしている。	各入試の選考基準を明確化し、募集要項に記載している。	本校独自のAO入試は、特に選考基準を明確に図れる試験である。	募集要項
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	入学願書提出者は一覧として記録保存している。	クラスごとの力量バランスが良くなるようにある程度クラス分けの参考にしている。	入学する生徒の多くは、勉強が苦手である。授業内容は、分かりやすく興味を持つ内容に重点を置き、居眠りをさせない、ノートが書ける授業を施している。	入学願書提出一覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
「調理師」は学力が低くても辞めなければ腕に職がつく仕事である。「調理師」という仕事に向けて素直に取り組む姿勢を重視し、卒業までに「挨拶」「返事」「後片付け」を中心とした素直で謙虚に取り組む姿勢を躡けることが本校の教育である。	AO入試（自己推薦）は、調理師という職業に強く興味を持ち、入学前に本校の理念を理解して本校で学びたい生徒を対象に選考している。AO入試の生徒達ほとんどが、入学後の学校生活においても様々な場面で活躍し成長しており、就職後の評価も高い。

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	塩田 淳子
--------	------------	-------	-------

## 7-27 学納金

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	学校として用意したカリキュラム・設備に対する適正な学納金を算出した上で社会経済状況を鑑みて、学納金を算定している。	授業に必要な包丁、および教科書を学校で準備し、貸出制にて授業を行うことで、学用品代金を大きく減額している。	包丁及び教科書購入希望者には販売窓口を整えている。 年々経済的困難の生徒が増えおり、延分納を教務要領に従い設定している。希望する生徒に公的奨学金の説明をして取り次ぎ業務を行っている。	教務要領 募集要領 奨学金借入生徒一覧
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	入学辞退について募集要項に記載し、授業料等について適正な取り扱いを行っている。	3月31日までに入学辞退の意志を示した者に対して、入学金を除いた授業料を返還している。	特に問題なし	募集要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学納金は各学校により用意されたカリキュラムや設備維持に見合った算出により提示されるものであるが、社会経済状況をみると学内努力により学納金を減らしつつ円滑な経営をしなければならない。	授業の質を向上させながらの学用品貸出制による学用品代減額 夜間部、昼間部本科の学費減額

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	塩田 淳子
--------	------------	-------	-------

## 基準 8 財務

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p><b>☆財務基盤</b></p> <p>財務基盤の安定を判断する目安として、消費収支比率および日本私学共済事業団が示しているキャッシュフローの推移を参考にしているが、近年の状況として健全であると言える。学校収入は生徒から納入される入学金・授業料等によるもので、入学生が減少すればおのずと収入減につながる。安定的に生徒確保に全力を尽くしているが、それには入学して良かった、卒業して良かったと言われる学校にすべく、「最も素敵な調理師学校」という目標を掲げ、教職員が一丸となって目指すことである。本学園は調理師養成の単科のみのため、社会情勢を常に把握しながら、いま生徒が求めているものを探求しながら師生同学の精神で学校運営をしている。現在の財務基盤は、借金がなく安定しているが、より盤石とするため、中長期的計画をしっかりと立て財務基盤の更なる安定化を目指していく。</p> <p><b>☆予算・収支計画</b></p> <p>単年毎に計画し、理事会・評議委員会にて承認を得て実施している。校舎の改修、新規の採用者を含め人件費などの経費増額はしっかり計画しなければならない。</p> <p><b>☆監査</b></p> <p>税理士の指導を受けながら会計処理を行い監事2名による会計監査を行っている。</p> <p><b>☆財務情報の公開</b></p> <p>私立学校法に基づき関係者にはいつでも閲覧できるよう開示している。また、学校情報公開としてホームページから確認できる。</p>	<p><b>☆最も素敵な調理師学校へ</b></p> <p>平成23年に新しく卒業生校長を迎え現在で12年目になり、教員の心構えから生徒指導に至るまで、全職員の意志統一がなされるようになってきている。実習指導教員も外来講師に多く依頼していたが、生徒の学びは基礎づくりであるとの観点から、専任教員が基礎の徹底を重点的に指導することにより、外来講師に依頼する授業が少なくなり、経費的にも負担が少なくなった。</p> <p><b>☆施設・設備の過渡期からくる改修へ向けた予算・収支計画</b></p> <p>校舎竣工30年を迎え、補修、改築には大幅な資金が必要である。今後も業界と時代の学びニーズも踏まえて計画的に校舎の改修を進めている。そのため生徒確保へ向けた広報活動の役割は非常に重要なものになっている。</p> <p>学生の学ぶ環境を整えるために令和元年6月に日本料理デモルームを、令和2年5月には中国料理デモルームを改装した。また、令和4年10月完成予定でレストラン型実習室を改装している。</p>

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	戸村 功
--------	------------	-------	------

## 8-28 財務基盤

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	現在の財務基盤は借金もなく安定している。しかし校舎全体も古くなり校舎建て替えのための長期的計画をしっかりと立て、より安定を目指していく。	「最も素敵調理師学校」を職員一丸の目標として、魅力ある学校づくりを全体で考え、定員確保のために信頼のおける学校作りを構築していく。	信頼のおける校長（リーダー）の元、総務課・教務課が一体となり生徒確保に全力をあげて取り組んでいる。	事業計画書および収支予算表および事業報告・収支決算書
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	日本私学共済事業団が示しているキャッシュフローの推移を参考にしている。	公認会計士のアドバイスを受け、無駄な経費について検証をしている。	夜間部で学びたい生徒の為に、授業料軽減等の策を講じ、特に夜間部は多数の応募が集まっている。	キャッシュフロー分析

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
日本私学共済事業団が示しているキャッシュフローの推移を参考に安定基盤を目指す。	総務課・教務課が一体となり、まず生徒指導・就職指導をしっかりすることにより調理師学校として存在価値を高め、学校独自の特徴を出し、生徒確保に全力をあげて取り組むとともに無駄な経費について検証をしていく。

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	戸村 功
--------	------------	-------	------

## 8-29 予算・収支計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	年度末に次年度の事業計画を作成し、それに合わせて予算の審議を行う。	次年度の校舎改修・補修について維持計画及び事業計画を含めた予算書を作成し理事会での承認を得て実施している。	出願状況を把握した上で、現状に沿って、充実した修学が施せる形で生徒予算を算出し、出費を行うため、問題は少ない。	事業計画書 収支予算書
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4月末に前年度の事業報告を作成し予算に基づいて運営されたかを審議している。	理事会にはかならず監事に出席頂き予算どおり適正に行われているかのチェックを頂いている。	会計については公認会計士により適正に処理されているか指導を受けている。	事業報告書 収支決算書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
3月前半に行う次年度の事業計画を作成し、それに合わせて予算の審議、及び5月前半に提示する事業報告・収支決算書をしっかり作成し、理事会の議事録を作成し、それに伴い評議員会の承認を得ている。	会計については公認会計士により本校の会計方法が適正に処理されているか指導を受けている。

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	戸村 功
--------	------------	-------	------

## 8-30 監査

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	税理士の指導を受けながら会計処理を行ったうえで本法人の監事2名による会計監査を行っている。	監事には毎回理事会に出席して頂き財務に就いて指導を頂いている。	現在の会計は熊木会計事務所に会計処理が適正に行われているか詳細を見て頂いており特に問題はない。	理事会議事録 監査報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
税理士の指導を受けながら会計処理を行った上で、本法人の監事2名による会計監査を行っている。	本校監事は平成17年からご依頼している熱田稔敬先生で税務経歴は元新宿税務署長である。税務内容にも詳しく学園の将来を見越した指導を頂いている。なお平成26年度から、先生のご紹介もあり学校会計のエキスパート白土英成先生に監事になっていただき、毎回理事会に出席いただきご意見を伺いながら運営を進めている。

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	戸村 功
--------	------------	-------	------

## 8-31 財務情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	私立学校法に従い関係者にはいつでも閲覧できるよう開示している。	学校関係3表(資金収支決算書活動区分資金収支決算書・貸借対照表)を期日内に確実に作成している。	平成27年度から学校会計が大きく変更され、それに伴う学校会計ソフトを購入し対処している。	事業報告書 資金収支決算書 事業活動収支決算書 貸借対照表

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
私立学校法の規定に従って、財務諸表および事業報告書、資金収支決算書ならびに事業活動収支決算書を4月末までに作成、理事会の議決・評議員会の承認を得て5月に監査が終わった段階で閲覧できるよう常備している。	平常業務日において閲覧請求があった場合には、即座に対応できる体制にしている。

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	戸村 功
--------	------------	-------	------

## 基準 9 法令等の遵守

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p><b>☆関係法令、設置基準の遵守</b> 厚生労働省大臣指定の調理師養成施設校であり、法令遵守を徹底し、その規定された範囲の中で社会に貢献できる調理師を養成するカリキュラムを研究し、調理師として必要な授業を実施していく。</p> <p><b>☆学校評価</b> 社会に貢献できる調理師育成については、時代の流れの中で常に進化させなければならない。その中で自己評価は改めて本校の取り組みを見直す良い機会であると捉えている。また、調理師現場からの教育課程編成委員会と社会の目線からアドバイスいただける学校関係者評価委員会から挙がる、より実践的な教育を進めるための改善点に迅速に対応しなければならないと考えている。</p> <p><b>☆教育情報の公開</b> これらの過程から構成される学校情報は、学生や保護者様が安心して学校選択ができる重要な要件である。おしる詳しい内容を知っていただき本校に興味を持っていただきたくホームページにて公開している。</p>	<p><b>☆カリキュラムの編成</b> カリキュラムは毎年精査を行なっている。関係法令を遵守した上で、ニーズに合わせて必要と考えられる学びは、オリジナル授業として即取り入れている。</p> <p><b>☆平成29年 東京都衛生関係職種養成施設指導調査</b> 平成29年7月4日に調査いただき、おおむね良く管理していると評価をいただいた。</p> <p><b>☆令和3年度 夜間部定員増の結果</b> 夜間部の週3日、修業年限2年の変更に伴い平成31年度は定員を満たし、夜間部定員を増やした。増員後の令和3年度募集もほぼ定員となり、ニーズを感じている。</p>

最終更新日付

2022年10月1日

記載責任者

塩田 淳子

## 9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	法令や設置基準を遵守している。	カリキュラム変更などの学則変更は区または都にご指導をいただきながら進めている。	特に問題はない	調理師法施行規則 専修学校設置基準

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
調理師免許取得に対し法令遵守の範囲内にて、社会に貢献できる調理師を養成するカリキュラムを研究し、調理師として必要な授業を施していく。	専修科（2年制）オリジナルカリキュラム 飲食サービス業インターンシップ・調理現場インターンシップ 良き習慣を身につける『おせっかい授業』～挨拶・返事・後片付け～ 感謝の心を育む『おかげさま授業』～掃除から学ぶ～ 大地から学ぶ『農と食と命のつながり授業』～農業体験～ 等

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	塩田 淳子
--------	------------	-------	-------

## 9-33 個人情報保護

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	法律に基づき、学校が有する個人情報、いかなる理由においても流出してはならない。	個人情報保護に関する規則に基づいて適正に運用している。	教職員モラルの徹底を啓発している。	生徒等の個人情報保護に関する規則

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報の管理は、教職員個人のモラルによるところがあるので、社会的な責任の自覚を啓発し続けることが大切である。モラルに反することが生じた場合は、厳しい罰則を与えることとなる。	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	塩田 淳子
--------	------------	-------	-------

## 9-34 学校評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	実施時期を毎年度定め、点検・評価を行っている。	自己点検・自己評価報告書を作成している。	点検・評価を行える教職員の育成が必要である。	自己点検・自己評価報告書
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	自己評価を毎年見直し公表するように取り組んでいる。	ホームページで公表している。	ホームページによる公表が最も効果的な方法であると考えられる。	自己点検・自己評価報告書
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	学校関係者評価委員会を設置して自己評価結果に基づき評価を行っている。	学校関係者評価結果に基づき調理師見習いの即戦力を育てるべく校是に基づいた教育強化に努める。	評価結果による改善点に対して迅速に取り組むことが重要である。	学校関係者評価報告書
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	学校関係者評価結果を毎年まとめ公表するように取り組んでいる。	ホームページで公表している。	ホームページによる公表が最も効果的な方法であると考えられる。	学校関係者評価報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校運営は法律を遵守して行わなければならない。その上で独自のスタイルを形成している。その中で自己評価を実施することは、改めて取り組みを見直すことができるため、積極的に行っている。今後も、情報公開に努めていく。	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	塩田 淳子
--------	------------	-------	-------

## 9-35 教育情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	生徒が学校選択をするに当たり教育情報が判断基準になるため、むしろ知っていたかなければならないと考えている。	学校案内書・ホームページを中心にお知らせしている。	教育情報をご理解いただいて学校を選択するには、見学に来ていただくことが重要と考えている。本校では、365日いつでも公開授業を実施している。	学校案内書 ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
責任ある学校運営を行っているので、学校の特徴を分かりやすく提示することが、生徒や保護者様、入学希望者の信頼を得ることだと考える。	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	塩田 淳子
--------	------------	-------	-------

## 基準 10 社会貢献・地域貢献

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p><b>☆社会貢献・地域貢献</b></p> <p>学校法人の性質上、社会貢献・地域貢献は必然であると考えます。しかし、その活動を通じて人様のお役に立つという考えだけではなく、参加させていただくことで、自分自身が行き届いた活動の勉強させていただいていることに気付かなければならない。まずは教職員が感謝して取り組むことが大切である。</p> <p><b>☆事前オリエンテーションの必要性</b></p> <p>学生ボランティア活動をはじめとする社会貢献活動については、事前にオリエンテーションを行い、活動の主旨を理解させる。また、活動を通じて生徒自らの学びになることを自覚させ取り組む姿勢をつけてから参加する。</p>	<p><b>☆シャイニングスターズ活動</b></p> <p>例年、新宿警察署主催の「若き防犯ボランティア シャイニングスターズ」として社会貢献活動に参加している。コロナ禍においては、主だった防犯活動はなかったが、警視総監との座談会や防犯講話の聴講などを実施し、社会貢献意識を高めた。</p> <p><b>☆早朝街頭清掃</b></p> <p>例年、日本を美しくする会主催の早朝街頭清掃活動（歌舞伎町・新宿駅東口・渋谷）及び羽田街道おもてなし清掃に学生、教職員で積極的に参加している。コロナ禍においては、感染拡大状況により参加している。これまでの学びを生かし、「おかげさま授業」の取り組みとして7時15分から学校近隣の早朝清掃を実施し、コロナ禍においても出来ることを模索しながら充実を図った。</p> <p><b>☆被災地訪問活動</b></p> <p>東日本大震災の被災地に向けて訪問活動を継続して行っている。            平成23年 気仙沼 平成24年 女川町 平成25年 南相馬市            平成26年 南相馬市 平成27年 いわき市・常総市            平成28年～令和3年 飯館村</p> <p>平成24年度よりこれまでに被災地出身の学生6名に授業料と寮費を無料で支援し卒業している。また、震災から10年が経過し被災地支援学僕生の役割は終えたと考える。新たに学僕制度を立ち上げ、授業料・寮費無料で未来の調理師リーダー養成のための支援をしている。現在6名が取り組んでいる。</p> <p><b>☆その他の活動</b></p> <p>キッズ和食育などの地域食育活動、高校生や中学生に対する上級学校見学などその他、様々な社会貢献・地域貢献活動も行っている。コロナ禍において、実施は少なかったものの、今後の実施に向けて準備している。</p>

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	塩田 淳子
--------	------------	-------	-------

## 10-36 社会貢献・地域貢献

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	学校法人の性質上、社会や地域に貢献することは必然であると考え。	例年、エコギャラリー新宿とタイアップした「キッズ和食育」や新宿区立牛込第一中学への「和食育」出前授業、新宿駅周辺防災対策協議会主催の炊き出し体験の実施をしてきた。	コロナ禍により実施はかなわなかった。感染拡大状況を見て、どのように実施するかを検討する必要がある。	学園だより 「まちの先生」登録資料集 「エコにトライ！」チラシ
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	外国人の日本食への興味は深いと考える。学校としても留学生の受け入れをはじめ、国際交流への取り組みは、社会貢献の一つとして必要である。	コロナ禍においても、外国人留学生の受け入れは続けている。	コロナ禍において、ビザの取得の関係で入国できない事案があった。学校としては、学びたい外国人に不利益のないよう対応していく。	学校案内書

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校自身が社会貢献・地域貢献を行っていくことで、教職員も社会と接する機会となり資質の向上につながる。貢献とは人様へ享受することでなく、学ぶ機会を頂いているものとする。	コロナ禍においても、情勢を見ながら可能な限り取り組めるよう、常に準備を整えている。

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	塩田 淳子
--------	------------	-------	-------

## 10-37 ボランティア活動

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	ボランティア活動は学生が社会に接する数少ない機会である。積極的に情報提供し、シャイニングスターズを中心として具体的な活動支援を行っている。	例年、新宿警察主催によるボランティア団体シャイニングスターズに登録し活動している。また、日本を美しくする会主催の新宿早朝清掃、羽田街道おもてなし清掃へ参加している。	令和3年度はコロナ禍により活動は多くなかったが、職員の意識向上が生徒の活動の奨励に繋がると考え、積極的に参加した。	学園だより

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
ボランティアの取り組みは、生徒が社会に接する数少ない機会となる。役に立って満足するという考えでなく、社会に触れて自分の力が足りないことの自覚から何かを学び成長につなげたいと考える。	例年、新宿警察主催の「シャイニングスターズ活動」、月1度の新宿早朝街頭清掃活動や羽田街道おもてなし清掃に参加している。令和3年度はコロナ禍において、感染防止対策を講じ、可能な限りの参加を試みた。

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	塩田 淳子
--------	------------	-------	-------